

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	437	2年	前期	臨床検査学科	必修	生理機能検査学Ⅰ Clinical Physiology Ⅰ	30	2
担当教員								
山口 文徳		岡村 法宜						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
<input type="radio"/>	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
生理機能検査で使用する機器の構造および測定原理や得られたデータの意味について理解できるようになる。さらに、生理機能検査の正常値・異常値や疾患との関連を理解し、検査結果の解釈ができるようになる。								
到達目標（授業目標）								
①循環器系検査、神経・筋機能検査の検査機器の原理や特性、検査方法について説明できる。								
②健常人から得られた正常データおよび疾患に関連する異常データについて十分理解し、説明や評価ができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	循環器系検査：心臓、血管の構造と機能と循環器系検査の概要について講義する。（担当：山口）							
2回	心電図（1）：心電図が描かれる原理、誘導法について講義する。（担当：岡村）							
3回	心電図（2）：心電計の構造と取り扱い、正常心電図について講義する。（担当：岡村）							
4回	心電図（3）：刺激伝導系の異常による心電図異常、不整脈心電図について講義する。（担当：山口）							

5回	心電図（4）：心筋異常による心電図異常、狭心症、心筋梗塞の基礎について講義する。（担当：山口）						
6回	心電図（5）：運動負荷心電図、ホルター心電図、心音図について講義する。（担当：山口）						
7回	脈管疾患検査：脈波測定の原理および測定機器について講義する。（担当：山口）						
8回	心臓カテーテル検査：心臓カテーテル検査の種類と検査技師の役割について講義する。（担当：山口）						
9回	筋電図（1）：筋電図検査の種類、筋電計・電極（針電極と表面電極）の構造と取り扱い方について講義する。（担当：山口）						
10回	筋電図（2）：運動単位と正常筋電図、神経原性・筋原性筋電図異常について講義する。（担当：山口）						
11回	筋電図（3）：神経伝導速度測定法（MCV、SCV、反復刺激検査、H反射、F反射）とその意義について講義する。（担当：山口）						
12回	感覚機能検査（1）：視覚・嗅覚・味覚・平衡機能検査の特徴について講義する。（担当：岡村）						
13回	感覚機能検査（2）：聴覚・平衡機能検査について講義する。（担当：岡村）						
14回	感覚機能検査（3）：味覚、嗅覚、視覚検査について講義する。（担当：岡村）						
15回	感覚機能検査（4）：感覚機能検査の解釈と注意について講義する。（担当：岡村）						
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし60点以上を合格とする。							
教科書	東條尚子・川良徳弘編「最新 臨床検査学講座 生理機能検査学」（医歯薬出版）						
参考図書等	授業前に資料を配付します（山口、岡村）。						
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）							
講義前に資料を配付します。必ず資料と教科書の該当箇所を一読して理解できていない部分を明確にして授業に臨んでください。授業後の学習のため、課題を出します（岡村）。							
関連科目							
前科目	144 人体の構造・機能Ⅰ	145 人体の構造・機能Ⅱ	146 人体の構造・機能Ⅲ				
後科目	438 生理機能検査学Ⅱ	439 生理機能検査学実習	440 生理機能検査学実習				
実務家教員							
医師（医療機関）	山口 文徳						
備考	疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください（岡村）。						